

## 編集後記

先日、NHK テレビで羽生善治三冠の特集を観た。羽生さんは、小学1年生で将棋を覚え、中学3年生で四段に昇段、25歳で7タイトル全制覇を達成した、文字どおり将棋界最強の棋士である。いつもスポットライトを浴び続けていた羽生さんであるが、30歳を過ぎた現在、大きな壁にあたっている。2年前には、タイトルが1冠にまで落ち込んだ。その際には、同期でいつもライバルであった森内俊之名人（棋王）に続けて敗れるという屈辱も味わっている。そんな30歳を過ぎた羽生さんの二つの言葉が非常に私の心を打った。

「リスクなくして、成長なし」

「才能とは、情熱や努力を継続できる力」

通常、我々なら「チャレンジ精神」、「冒険心」、「積極性」という言葉で置き換えられそうな内容であるが、長い間、勝負の世界に身を置く羽生さんだからこそ、あえて「リスク」と言う。勝つ怖さ、負ける怖さを知っているからこそ

の言葉であろう。そして、成長するためには、情熱や努力が継続できなければならないということであろう。

小生も30歳を過ぎた今、振り返ってみると、10代、20代の時のようなチャレンジ精神や冒険心、積極性は影をひそめていないだろうか。情熱や努力は継続しているだろうか。それは、教員という立場になり学生を指導するようになって、また、親から独立し収入を得られるようになって、顕著に表れていないだろうか。おごりはないか。現状に満足し守りに入っていないか。30代には30代にしかできない「リスク」があると思う。それを選択するのか、現状維持で守りに入るのか、それとも逃げ出してしまうのか……。さらなる自己成長をするために、今、本当に何が一番必要なのか、じっくり考えたい。

羽生さんを応援したいし、それに相対する同期の森内さんも応援したい。この二人を励みにし、「アークのように明るく、雷のように激しく情熱的に！」をモットーに、さらに活発に研究・教育活動を進めていきたいと思う。

(岩尾 徹)

### プラズマ・核融合学会役員

会 長	高村 秀一	副 会 長	藤原 正巳	松田慎三郎	常務理事	岡村 昇一 (総務委員長)
理 事	秋山 秀典 尾崎 章 (財務委員長) 佐野 史道 畑山 明聖 森 雅博 (広報委員長)		今井 剛 際本 泰士 (広告委員長) 田中 和夫 (編集委員長) 浜口 智志 (出版委員長) 吉田 善章 藤山 寛		奥野 健二 (プログラム委員長) 佐藤浩之助 (企画委員長) 島山 力三 本島 修	
監 事	長谷川 満					

### プラズマ・核融合学会誌編集委員会

編集委員長・チーフエディター 田中和夫 (阪大)  
 エディター 関子秀樹 (九大)、関 昌弘 (RIST)、田中雅慶 (九大)、福山 淳 (京大)、村上匡且 (阪大)、行村 建 (同志社大)  
 編集委員 荒巻光利 (名大院工)、飯塚 哲 (東北大院工)、石黒静児 (核融合研) 岩尾 徹 (武蔵工大)、岩切宏友 (九大応力研)、上田良夫 (阪大院工)、越智義浩 (原子力機構)、片沼伊佐夫 (筑波大プラズマ)、門 信一郎 (東大高温プラズマ)、加藤太治 (核融合研)、北島純男 (東北大院工)、北野勝久 (阪大院工)、小口治久 (産総研)、佐伯紘一 (静大理)、重森啓介 (阪大レーザー研)、洲 亘 (原子力機構)、妹尾和威 (核融合研)、高橋栄一 (産総研)、高山有道 (核融合研)、谷口和成 (京都教育大)、永岡賢一 (核融合研)、長崎百伸 (京大エネ理研)、野崎智洋 (東工大院)、平松美根男 (名城大理工)、増崎 貴 (核融合研)、山内有二 (北大院工)、山本 巧 (原子力機構)

乱丁・落丁本は、ご面倒ですが学会編集委員会宛ご送付ください。送料当方負担にてお取り替えいたします。

### プラズマ・核融合学会誌第82巻第8号

編集・発行

〒464-0075 名古屋市千種区内山3丁目1-1 4階

社団法人 プラズマ・核融合学会 編集委員会

Tel. 052-735-3185 Fax. 052-735-3485

E-mail: plasma@jspf.or.jp URL: <http://www.jspf.or.jp/> 定価1,365円(本体1,300円)

印刷 株式会社荒川印刷

2006年(平成18年)8月25日

本誌に掲載された寄稿等の著作権は(社)プラズマ・核融合学会が所有しています。

編集委員会開催日について 当学会誌の編集委員会は原則として、毎月第1火曜日に開かれています。但し、都合により変更になる場合があります。